

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 北陸財務局長

**【提出日】** 平成24年8月10日

**【四半期会計期間】** 第101期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

**【会社名】** 小松精練株式会社

**【英訳名】** KOMATSU SEIREN CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 池田 哲夫

**【本店の所在の場所】** 石川県能美市浜町又167番地

**【電話番号】** 0761-55-1111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 早瀬 智

**【最寄りの連絡場所】** 石川県能美市浜町又167番地

**【電話番号】** 0761-55-1111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 早瀬 智

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第100期 第1四半期 連結累計期間	第101期 第1四半期 連結累計期間	第100期
	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (百万円)	9,293	8,752	37,218
経常利益 (百万円)	770	397	2,396
四半期(当期)純利益 (百万円)	479	202	1,435
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	548	7	1,367
純資産額 (百万円)	29,627	29,938	30,187
総資産額 (百万円)	43,113	42,638	43,439
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	11.24	4.74	33.66
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	66.73	68.14	67.52

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景とする緩やかな回復の兆しがみられたものの、欧州を中心とした債務問題の再燃による世界的な金融不安の拡大や中国経済の成長率の鈍化、加えて国内における電力供給に対する懸念など、先行きはいまだ不透明な状況にあります。

このような状況のなか、当社グループは今期も引き続き「挑戦と変革」を掲げ、市場に新しい価値の提供と収益拡大による成長戦略を目指しました。しかしながら、特に海外においては、重要な輸出先であります欧米の景気後退の影響等を受け、売上、利益共に予想を下回る結果となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、8,752百万円（前年同期比5.8%減）となり、営業利益は305百万円（前年同期比50.9%減）、経常利益は397百万円（前年同期比48.3%減）、四半期純利益は202百万円（前年同期比57.8%減）の減収減益となりました。

事業のセグメント別状況は以下の通りであります。

#### 繊維事業

衣料ファブリック部門は、当社の得意とする高感性・高機能素材の開発と市場導入の積極的な推進により、ファッション衣料を中心に堅調に推移しました。しかしながら、海外のスポーツ市場の冷え込み等の影響を受け、スポーツ衣料が大幅ダウンしました。

資材ファブリック部門は、車輦分野が順調に拡大するも、省エネ効果の期待できる機能性ファブリックが市場に一巡したことにより、リビング分野が震災前の水準に戻る等、総じて減少しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当事業の売上高は8,525百万円（前年同期比5.9%減）、セグメント利益（営業利益）は268百万円（前年同期比52.7%減）となりました。

#### その他の事業

物流分野が堅調に推移し、当第1四半期連結累計期間の当事業の売上高は227百万円（前年同期比0.5%減）となり、セグメント利益（営業利益）は受注内容の変化もあって33百万円（前年同期比32.0%減）となりました。

#### (2)研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は151百万円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	43,140,999	同左	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は1,000株であります。
計	43,140,999	同左		

(注)完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない株式であります。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年6月30日		43,140		4,680		4,720

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、直前の基準日である平成24年3月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成24年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 503,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 42,299,000	42,299	
単元未満株式	普通株式 338,999		
発行済株式総数	43,140,999		
総株主の議決権		42,299	

【自己株式等】

平成24年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 小松精練株式会社	石川県能美市浜町又167番地	503,000		503,000	1.17
計		503,000		503,000	1.17

(注) 株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000株(議決権1個)あります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,455	7,465
受取手形及び売掛金	1 8,203	1 7,730
有価証券	5,980	5,170
商品及び製品	2,051	2,371
仕掛品	818	770
原材料及び貯蔵品	2,154	2,110
繰延税金資産	255	342
その他	144	227
貸倒引当金	47	50
流動資産合計	27,014	26,136
固定資産		
有形固定資産	8,232	8,090
無形固定資産		
のれん	44	36
その他	204	224
無形固定資産合計	249	260
投資その他の資産		
投資有価証券	6,578	6,042
繰延税金資産	1,051	1,185
その他	315	924
貸倒引当金	2	3
投資その他の資産合計	7,943	8,149
固定資産合計	16,425	16,501
資産合計	43,439	42,638

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 6,564	1 6,254
短期借入金	99	249
未払法人税等	647	263
賞与引当金	381	209
その他の引当金	-	6
その他	1 1,575	1 1,776
流動負債合計	9,268	8,759
固定負債		
退職給付引当金	3,469	3,435
役員退職慰労引当金	366	366
環境対策引当金	11	11
負ののれん	15	13
その他	121	113
固定負債合計	3,983	3,939
負債合計	13,252	12,699
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,680	4,680
資本剰余金	4,720	4,720
利益剰余金	20,278	20,224
自己株式	221	221
株主資本合計	29,458	29,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136	167
為替換算調整勘定	265	184
その他の包括利益累計額合計	129	352
少数株主持分	858	886
純資産合計	30,187	29,938
負債純資産合計	43,439	42,638

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	9,293	8,752
売上原価	7,471	7,216
売上総利益	1,821	1,536
販売費及び一般管理費	1,199	1,230
営業利益	622	305
営業外収益		
受取配当金	54	61
持分法による投資利益	57	40
その他	84	56
営業外収益合計	196	158
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	35	49
その他	12	15
営業外費用合計	48	65
経常利益	770	397
特別利益		
固定資産売却益	-	0
投資有価証券売却益	0	67
特別利益合計	0	67
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	1	2
投資有価証券売却損	-	86
その他	0	-
特別損失合計	2	88
税金等調整前四半期純利益	767	376
法人税、住民税及び事業税	344	257
法人税等調整額	72	62
法人税等合計	272	194
少数株主損益調整前四半期純利益	495	182
少数株主利益又は少数株主損失( )	15	19
四半期純利益	479	202

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	495	182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	304
為替換算調整勘定	44	129
その他の包括利益合計	53	175
四半期包括利益	548	7
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	516	20
少数株主に係る四半期包括利益	32	28

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これによる損益の影響額は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。  
なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形	130百万円	141百万円
支払手形	452 "	377 "
設備関係支払手形	1 "	20 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
減価償却費	313百万円	299百万円
のれんの償却額	8 "	8 "
負ののれんの償却額	2 "	1 "

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	255	6.00	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	255	6.00	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,064	228	9,293		9,293
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	425	443	443	
計	9,083	653	9,736	443	9,293
セグメント利益	567	49	617	5	622

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。  
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,525	227	8,752		8,752
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	424	442	442	
計	8,543	651	9,195	442	8,752
セグメント利益	268	33	302	3	305

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。  
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	11円24銭	4円74銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	479	202
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	479	202
普通株式の期中平均株式数(千株)	42,647	42,638

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当社は、平成24年7月30日開催の取締役会において、株式会社パッツの全株式を取得し、子会社化することを決議いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称	株式会社パッツ
主な事業内容	紳士服の製造販売

(2) 企業結合を行う主な理由

製品事業の多角化を図ることにより、収益の拡大が期待できるため

(3) 企業結合日

平成24年8月13日

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 取得した議決権比率

100%

(6) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とする株式取得

(7) 結合後企業の名称

株式会社パッツ

2. 被取得企業の取得原価及びその内訳

現時点では確定しておりません。

3. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月 9日

小松精練株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 坂 下 清 司

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 秋 山 高 広

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている小松精練株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、小松精練株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。